

# みんなで守ろう！ 子どもの安全

最近、子どもを狙った事件が頻発しており、子どもたちの安全をどう守るかということに関心が高まっています。  
今月号では、地域や区役所の子どもを守る取り組みや家庭で子どもを守るためのポイントを紹介します。

## 地域の取り組み

ゆたか東町内会では地域の皆さんが独自のパトロールを行って、登下校時の子どもたちの安全を守っています。

パトロール隊は「ゆたか東町内会 みまもり隊 安全パトロール」と書かれたオレンジのジャンパーが目印です。同町内会では、世帯に小・中学生のいる家庭が多く、子どもたちの安全を自分たちで守ろうと、今年4月から小学校の登下校時に、通学路上に立つての見守りや町内の見回りなどの活動を行っています。

隊員が近寄ると無言で通り過ぎて行った子どもたちも、今は元気にあいさつをしてくれるようになりました。

「このジャンパーを着て、毎日見守りなどに出かけているので、子どもたちは『町内の人たちだ』と安心してくれるようになりました。何よりもうれしいことです」と、町内会長の関本長光さんは笑顔で話します。

現在、パトロールを開始してからしばらくたち、地域での見守り活動は定着してきました。同町内会では、今後は通学時の見守りだけではなく、公園の安全確認なども積極的に行って、子どもたちの安全に死角がないように、さらに活発な活動にしていきたいと考えているそうです。



▲一人一人に声をかけます



▲パトロール隊の皆さん

## 家庭でできる子どもの安全対策

子どもが犯罪に巻き込まれないようにするには、大人が注意して見守る必要があります。ここでは家庭でできる子どもの安全対策のポイントをいくつかご紹介しましょう。

まず、お子さんの外出時は、誰と、どこで、何をするか、何時ころ帰宅するかの確認をするようにしましょう。何も言わないで外出しようとするときは、必ず行き先を確認しましょう。こうすることで、約束の時間に帰ってこない時、探す場所の見当をつけることができます。

さらに、日ごろから仲の良い友達の名前・住所・電話番号をメモに控えておくとういでしょう。

また、子どもが不審者に声を掛けられた時、すぐに行動できるように知識を与えておくことも大切です。そのため、身を守る合言葉として、「いかのおすし」を繰り返し子どもに教えてください。

いか…知らない人についていかない  
ついでに他人の車にのらない  
…他人の車にのらない  
…おおごえを出す  
…すぐ逃げる  
…何かあったら  
…すぐ知らせる



(情報提供 手稲警察署)